

議会だより

令和2年9月議会

まじよう

No. 130

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和2年10月19日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

- ◆臨時会報告…………… 2
- ◆令和元年度決算…………… 3
- ◆定例会報告…………… 5
- ◆一般質問 (4名登壇) …… 8
- ◆議会活動報告…………… 12
- ◆木城っ子の活動写真…………… 13
- ◆まちの話題…………… 14



コロナに
負けるな!



第122回 木城小学校秋季大運動会
5・6年生 エイサーの様子

新型コロナ対策費決定

◆全員賛成で可決した議案

木城町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

令和2年度木城町一般会計補正予算(第4号)

令和2年第4回臨時会は、7月22日の1日間の会期で開催されました。介護保険条例の一部改正や、令和2年度一般会計補正予算など町長より提案のあった全2議案を可決しました。

*臨時会上程の議案につきましては、委員会付託の省略となつたため、委員会審査は行われませんでした。

【条例】1件

◎木城町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が減少した方への介護保険料の減免規定を追加。

【補正予算・歳出】

(万円未満切り捨て)

*コロナ禍における今後の対応・対策について、国から交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、様々な対策事業費が一般会計補正予算に計上されました。(総務財政課)

○避難所運営備品等購入費

(295万円)

コロナ禍における避難所運営用備品として折り畳み式簡易ベッドや非接触型体温計を購入する。備品のほか、運営職員に係る感染防止用消耗品(フェイスシールド・不織布マスク等)、避難者用に段ボールベッド等を購入する。

○まちづくり推進課

○コロナに負けるな！ジャンボ

商品券発行補助事業

(4860万円)

町内者向けに3割分、町外者向けへ2割分を上乗せした商品券発行補助事業費を、第2弾の景気対策事業として商工会に助成する。前回に引き続き、飲食店専用券(500円×2枚)が付属。

○コロナに負けるな！木城町事業継続支援緊急支援金

(2500万円)

売上の急激な減少など、厳しい経営環境に置かれている町内の事業者等に対し、事業継続支援緊急給付金を支給する。※従業員数に応じて給付金額の増額あり

○コロナに負けるな！地域企業等イノベーション補助金

(1200万円)

コロナ禍の地域経済において、販路拡大や新製品開発など業績回復や拡大に向けた取組による新事業展開を支援するための補助金を支給する。※補助率3/4(補助限度額30万円)

(福祉保健課)

○コロナに負けるな！木城のびのび子育て世帯応援臨時給付金

(990万円)

18歳以下の児童を養護する保護者に対して、児童1名につき1万円を支給する。

○介護処遇改善及び介護施設整備等補助金 新型コロナウイルス対応分 (50万円)

町内の介護施設等に対する新型コロナウイルス感染症対策に係る施設整備等補助金。

○新型コロナウイルス感染症対策に係る備品等購入費

(1259万円)

体表面温度を測定するサーマルカメラ装置、オゾン発生器等の備品購入のほか、防護服等の消耗品の購入費。

(産業振興課)

○コロナに負けるな！牛農家応援給付金 (1000万円)

消費の落ち込みにより、価格が低迷している肉用牛に対し、市場等を通じて売却を行った場合に、農家・法人等へ助成金を支給する。

○コロナに負けるな！山の守り人応援給付金 (260万円)

町内林業者に対し、林業機械の燃料費補填のための補助金。

(教育課)

○コロナに負けるな！木城町出身学生応援特別給付金

(905万円)

町内出身で、各種専修・専門学校、大学等(県内も可)に在籍し、扶養者(親権者)が町内に在任している学生に対する給付金。県外の学生は5万円、県内は3万円。申請期限は10月30日まで。

○公立学校情報機器整備事業

(2787万円)

木城小・中学校の児童・生徒用(二人1台)のタブレット端末の導入費用。

○総合交流センターリパリスホールサテライト会場機器設置工事

(160万円)

ホールイベントの様子(映像等)を会議室で観覧するための機器設置工事。



木城中学校合唱コンクールサテライト会場

令和元年度 一般会計決算

歳入 49.2億円 (前年度比4.2億円増)

歳出 46.2億円 (前年度比3.5億円増)

※千万円未満は四捨五入

令和2年第5回定例会は、9月4日から11日間の会期中で開催され、令和元年度一般会計及び特別会計の決算認定、令和2年度一般会計補正予算など町長より提案されました全20議案及び議員発議1件を可決、認定、承認、同意しました。

決算審査特別委員会 審査報告

〔決算認定〕(万円未満切り捨て)

令和元年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算認定(全6件)については、10名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置して、町長等及び担当課長に資料の提出と出席を求め、本会議場にて慎重な審議を行いました。

決算審査とは、予算執行の結果を総合的に確認・検証して予算効果と行政効果が発揮されているか、また、町の財政状況の実態を確認し、健全化及び適正化が図られているかを判断するための審査です。

令和元年度一般会計の歳入決算総額は、49億2405万円、歳出決算総額は46億1804万円です。

一般会計における歳入の財源構成は、自主財源60・6%、国県依存財源は24%、その他(寄付金等)含む15・4%で、町債(町の借金)の現在高は10億5276万円、町民一人当たりの負担額(令和2年4月1日現在・5114人)は約21万円です。

各会計の決算書のほか、監査委員による審査意見書や主要事業成果表などの資料を参考に、適正に予算執行が行われているか、また効果を発揮しているかなど、執行部に対して質疑を行いました。

質疑においては、決算統計資料に基づく実質収支比率並びに経常収支比率の増加、地方公会計、町税や町営住宅使用料等の収入未済額の今後の見込や滞納者対策等の状況について質問がありました。また、特別会計においても審議し、意義のある審査を行いました。

特別会計決算 (単位：千円 / 千円未満切り捨て)

		R元年度	H30年度	増減
国民健康保険事業	歳入	657,043	691,793	△ 34,750
	歳出	647,013	646,939	74
簡易水道事業	歳入	148,559	127,397	21,162
	歳出	123,200	123,375	△ 175
下水道事業	歳入	234,271	199,768	34,503
	歳出	218,118	194,514	23,604
介護保険 (保険事業、サービス事業)	歳入	720,392	728,661	△ 8,269
	歳出	701,705	710,490	△ 8,785
後期高齢者医療	歳入	75,383	73,529	1,854
	歳出	74,769	72,246	2,523

令和元年度一般会計
歳入歳出決算について

ふるさと納税が過去最高！

歳入は、自主財源の主な財源、歳出は、主要な事業について記載しています。

【歳入】(万円未満切り捨て)

- 《町税》
- 町民税 (1億6376万円)
・個人 1億4336万円
・法人 2040万円
- 固定資産税 (22億6085万円)
- 軽自動車税 (2239万円)
- 町たばこ税 (2107万円)

《分担金及び負担金》

- 保育料 (2983万円)
- 《使用料及び手数料》
- 住宅使用料 (5016万円)

《寄付金》

- 一般寄付 (ふるさと納税) (6億1161万円)
〃 (企業版ふるさと納税) (430万円)
- 教育寄付 (10万円)

※自主財源は、固定資産税が1億1851万円減っています。が、主に寄付金(ふるさと納税等)が2億659万円(対前年比50・5%)増えており、全体でも対前年比で9・3%の収入増となりました。

【歳出】(万円未満切り捨て)

- 外灯LED照明取替工事 (232万円)
町内外灯をLED化し、長寿命化及び電気料の削減が見込まれます。3カ年事業で昨年度が最終年度。
- 定住促進奨励事業 (2832万円)
 - ① 転入奨励金 160万円
 - ② 出産祝金 360万円
 - ③ 就学祝金 320万円
 - ④ 住宅取得奨励金 1992万円

行い、生活環境と保健衛生面の改善が図られました。

■地域ふれあい館「輝らら」運営事業 (1400万円)

介護予防事業の展開、トレーニング室の活用等により、高齢者を中心とした憩いと交流の場を提供し、健康づくりを支援することができました。

■のより保育園施設整備事業・補助金 (1億5203万円)

のより保育園(令和2年度より、のより幼児園)の町内への移転に係る施設整備工事費の助成を行いました。



のより幼児園

■町営住宅給湯器及びシャワー設置工事 (209万円)

池田住宅(一部を除く)の給湯器及びシャワーを設置することで、入居者の快適性が図られました。

■町営住宅火災警報器設置工事 (415万円)

10年前に設置した火災警報器を更新しました。

■ため池等整備事業 (2236万円)

整備を行うことにより、機能回復及び営農の利便性を図ることができました。

■木城浄化センター嫌気・好気槽ろ材更新工事 (3817万円)

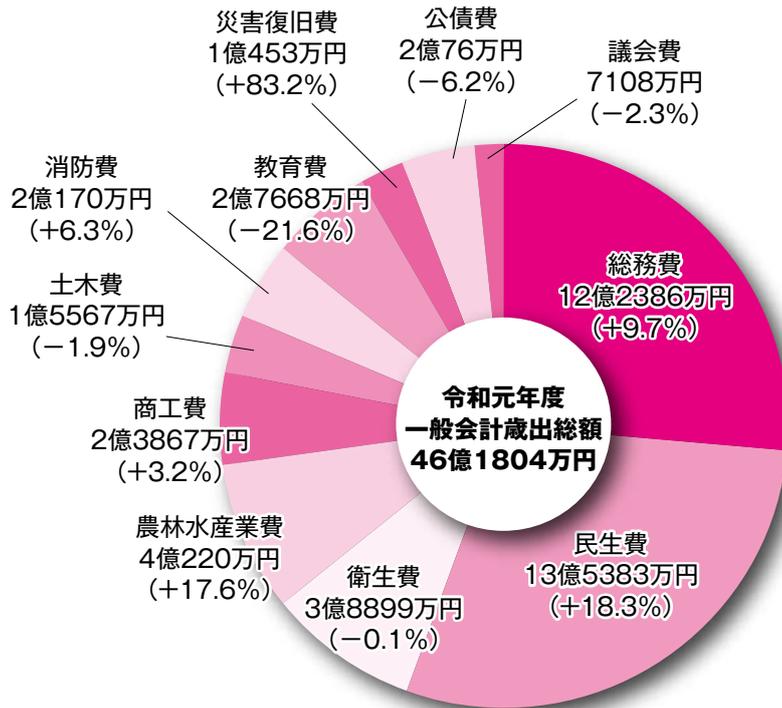
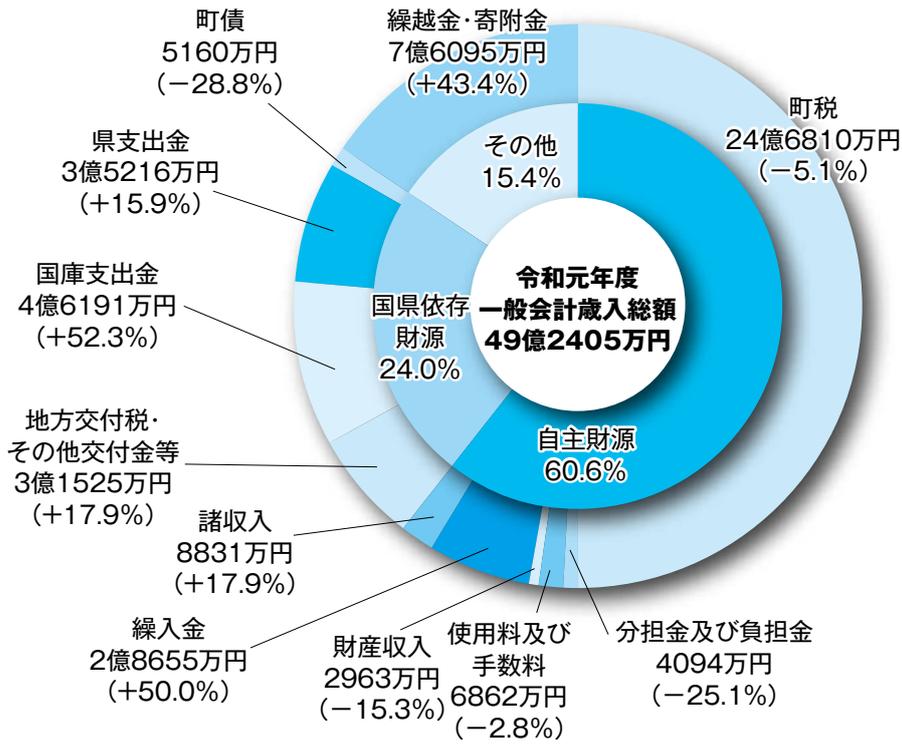
浄化センターの嫌気槽内部の点検及び好気槽ろ材更新を実施し、施設の健全度が把握できました。今後も設備を適切に更新し、適正な汚水処理を行います。

※前号でもお伝えしましたが、髪の毛等のゴミの流入が多いため、施設の維持管理に苦勞しております。家庭におけるゴミ出しの対策をお願いします。



比木地区ため池

令和元年度 歳入・歳出決算円グラフ



第5回定例会

〔報告〕 2件

■令和元年度健全化判断比率について
木城町における実質公債費比率（自治体の収入に対する負債返済の割合）は、4.3%であり、早期健全化基準数値の25%を大きく下回っている。

■令和元年度資金不足比率について
木城町簡易水道事業特別会計及び下水道事業特別会計に資金不足は生じていないため、不足比率はない。

〔議員派遣の報告〕

■宮崎県町村議会議長会 議会運営委員会正副委員長研修
原 博 委員長
久保 富士子副委員長

○宮崎市の自治会館にて行われ、新潟県立大学准教授 田口一博氏より「最近の議会を取り巻く動きから」について講義があり、原博委員長より報告がありました。



総務常任委員会 審査報告

【条例】 4件

◎木城町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について

地方自治法の改正により、町長等の損害賠償に対する免責についての規定を整備。

◎木城町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

住民基本台帳カード及びマイナンバー通知カードの再発行の廃止。

◎木城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◎木城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について

関係法令の改正等により、新たな運営基準の追加と「支給認定」を「教育・保育給付認定」に変更する条例改正。

【補正予算・歳出】

(万円未満切り捨て)

(総務財政課)

○青色防犯パトロール車購入費

(201万円)
青色防犯パトロール車の購入(更新)費用。

○ふるさと応援基金積立金

(6400万円)

木城町を応援するために寄せられた寄附金を地域活性化に資する事業の財源に充てるための基金。

○地域コミュニティ無線システム製造委託

(239万円)

地域コミュニティ無線機器の製造委託。

○災害対策基金積立金

(6000万円)

災害に強い安全で安心なまちづくりを推進し、災害の発生に対する備え、災害発生時の避難、被災者支援のほか、感染症及び家畜伝染病対策等の経費に充てるための基金。

(福祉保健課)

○福祉施設等感染拡大防止対策

支援事業補助金

(5300万円)

町内福祉施設を対象に、新型コロナウイルス感染症対応に係る経費の補助金。

○保育所等感染拡大防止対策

支援事業補助金

(250万円)

町内保育施設等を対象に、

新型コロナウイルス感染症対応に係る経費の補助金。
○新型コロナウイルス感染症対策に係る空気清浄機購入

(112万円)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、へき地診療所に空気清浄機を設置する。

産業文教常任委員会 審査報告

【条例】 1件

◎木城町営マイクロワンマン自動車運行条例の一部を改正する条例の制定について

本年10月より、乗合タクシー「あおぼと号」が本格運行することに伴い、中之又線を廃止する。

【補正予算・歳出】

(万円未満切り捨て)

(教育課)

○木城小学校バス借上げ料

(73万円)

新型コロナウイルス感染症防止対策として、社会見学等のバス増台に伴う増額。

○北郷蔵人之墓案内板設置工事

(37万円)

町指定文化財の北郷蔵人之墓の案内板設置工事。

(産業振興課)

○農業次世代人材投資事業

(150万円)

就農直後の経営確立を支援する資金の助成。(5年以内)

○町有林整備委託料

(645万円)

田神地区、仁君谷地区の町有林の植林等の整備委託料。

(まちづくり推進課)

○木城町プレミアム商品券発行

助成事業

(165万円)

プレミアム商品券発行に係る事務経費分を増額。

○指定管理施設委託料

(3644万円)

コロナ禍において売上等が減少したことにより、来年3月までの運営経費等を見込んだ委託料の増額。

(環境整備課)

○町営住宅修繕料

(200万円)

電気温水設備の更新に伴う修繕料。

○湯屋ヶ坂地区配水管布設工事

(296万円)

住宅件数の増加に伴う配水管布設工事。

○汚水枝線布設工事

(317万円)

新築等に伴う汚水枝線布設工事。



田神地区町有林

【追加議案】 1件

*議会最終日に、令和2年度一般会計補正予算(第7号)が追加工程されました。

(福祉保健課)

○季節性インフルエンザ予防接種費用助成事業

(217万円)

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を防ぐため、対象児童に16歳、18歳を加え、妊婦及び65歳以上は、一部助成から全額助成へ変更となる。

教育委員会教育長の
任命について（同意）



えり しゅうじ 氏
恵利 修二 氏

任期は10月1日から令和5年
9月30日までの3年間。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に
対し、地方税財源の確保を
求める意見書の提出

【議員発議】

季節性インフルエンザとの同時流行時期に備え、きめ細かな対応が求められますが、経済状況の回復も見込めない中、今後は地方税収の減少も考えられ、さらには地方交付税が減少となった場合、自主財源に乏しい町村においては、安定的な行政運営も危ぶまれます。

今後、コロナ禍において、町村が安定した行政運営を行うため、減収補填措置及び交付税財源等の確保を強く国に要望するため、意見書を提出しました。

◆全員賛成で可決した議案（決算認定を除く）

●専決処分の承認を求めるについて（令和2年度木城町一般会計補正予算 第5号）
●木城町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について
●木城町営マイクロワンマン自動車運行条例の一部を改正する条例の制定について
●木城町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
●木城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
●木城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育施設の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について
●令和2年度木城町一般会計補正予算（第6号）
●令和2年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
●令和2年度木城町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
●令和2年度木城町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
●令和2年度木城町介護保険特別会計補正予算（第2号）
●令和2年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
●教育委員会教育長の任命について
●令和2年度木城町一般会計補正予算（第7号）※追加分



新型コロナウイルス対策をした議場の様子

人口減少への対策はあるのか



眞鍋 博 議員

人口減少への対策について

問 本町においても遂に人口5千人を切り十年後には、4千5百人と予想される中、人口減少を受け入れ現状維持を保つのか、それとも人口増に向けて新たな対策を打つのか町長の考えは。

答 町長

総合戦略と人口ビジョンを策定し、定住促進事業などの事業に取り組んでいる。木城町PR事業や木城町と様々な関係をもつ関係人口も増やすなどの対策を考えている。

問 全国には人口が増えているところもある。出生率が増えているところもある。人口を増やす可能性はゼロではない。今後「木城に戻りたい、戻って良かった町づくり」も検討して頂きたい。本町は転入については定住促進奨励金制度などが充実しているが、町外に出ていき、戻ってきた人達や単身者への奨励金制度も見直すべきではないか町長の考えは。

答 町長

転入ばかりに目を向けがちではある。転出を抑える事も必要。今後Iターン者や単身者への新

しい奨励事業も含めて検討していきたい。

問 現在、本町の財政は赤字もなく町債償還もできており非常に安定している。しかし人口減少に伴い税収も減り、小丸川発電所の固定資産税の減少も見込まれ自主財源確保が課題であるが対策はあるのか町長の考えは。

答 町長

自主財源確保については本町では難しい状況ではあるが地方税などの徴収率の向上、資産の売却やネーミングライツの導入、保有資産の有効活用、事業の見直し、公共事業のコスト削減など将来にわたって持続可能な歳入の確保を図りたい。

問 人口減少に対する対策として誘致企業が大きな役割になるが現在、計画はあるのか。

答 まちづくり推進課

現在、新たな誘致企業の計画は具体的にはない。
※新富町も宮崎トヨタコロラグループ4社が物流センターなどの建設を計画している。雇用も生まれると聞いている。今後、議会でも誘致企業特別委員会など立ち上げ執行部と連携し町全体で誘致に向けて取り組まな

ればならない。

今後の公民館活動の対策について

問 現在、地区によつては温度差があるが高齢化により公民館長や役員などの成り手不足などで昔から地区に加入している人が脱退している地区もある。今後、公民館加入者も減少し、公民館活動や運営などが困難になると予想されるが対策はあるのか。

答 町長

自治公民館の持つ向こう三軒両隣、結いの心、絆、相互扶助の精神などの共助という面を引き継いでその上で新たな取組の一つとしてNPO法人化を考えている。自治公民館制度のNPO法人化は全国でもやっていない。庁舎内に「輝け木城、磨き隊」というグループがあり総務省と相談しながら法人化に向けて検討している。教育委員会でも公民館NPO法人化プロジェクト会議を設け検討に入っている。

問 具体的にNPO法人が何を

するのは検討段階に入ったとの理解でいいのか。

答 町長

それぞれ庁舎と教育委員会の方で検討段階に入ったとご理解

頂きたい。

消防団員確保の対策について

問 人口減少に伴い消防団員の確保も困難な状況にある。行方不明者の捜索や台風、災害時には、やはり地元消防団の活動が必要となってくる。地元消防団を維持する為にも消防団OBの協力が必要になってくる。西米良村が導入しているOB団員を活用した支援団員制度などを本町でも整備してはどうか。

答 町長

本町の消防団員定数は1660名で9月1日現在、140名、87・5パーセントの充足率である。消防団員確保が喫緊の課題の一つである。

答 総務財政課長

今後OBを活用した制度、機能別消防団員制度など検討していく。





久保 富士子 議員

コロナ禍における認知症 予防と虐待対策は

答 感染状況を踏まえて今後も対応していく

認知症発症や進行予防の取り組みは

問 外出自粛要請期間が長くなれば、高齢者の認知症やうつ病など精神的疾患が進むのではないかと。今回は幸いにもデイサービスが平常通り運営され良かったと思うが、それ以外の独り暮らしや高齢者に対して、どのような対策が取られていたのか。今後、今回同様に外出自粛要請になった場合、認知症の発症や進行を予防する取り組みはどのように行うのか。

答 町長

包括支援センター職員や民生児童委員関係機関と連携・協調して対応している。目に見えないウイルス、未知のウイルスとの戦いでもあり、手探りの対応となつているが、これを教訓として、新たな活動の在り方として生かしていきたいと思つている。

答 福祉保健課長

コロナ禍においては、人の命と健康を守るという行動が最優先であり、感染状況を踏まえて今後も対応していくことになる。公的サービス、デイサービス等の介護保険からむサービスは、できる限り安全性を保つ

た上で継続する考えである。各種教室については的確な所で情報提供しながら再開と中止を上手く考えながら動かすことに務めていきたい。今後も包括センターを中心に、個別に対応していきたい。

問 認知症予防は、コミュニケーション（会話）をとることが最大の予防策だが、今後は電話でのコミュニケーションがとれるように電話窓口を増やしたり、顔を見ながら話せるテレビ電話等も積極的に取り入れる必要があるのではないかと。

答 福祉保健課長

テレビ電話の活用については、スマートフォンやタブレットを用いた電話と言うことで、遠隔面談などの方式を検討し、参考にして今後の活用を生かしていければと考えている。

児童・高齢者・障害者虐待対策は

問 生活不安やストレス等から児童・高齢者・障害者等の弱者に対しての虐待が増加し、深刻化が懸念されているが実態はどうか。

答 福祉保健課長

障害者虐待はない。児童・高齢者虐待は2件ずつ取り扱って

いるが、コロナ禍が原因ではなくそれより以前からの継続的ケースである。

問 被害者支援の相談体制や予算の拡充の対策は取っているのか。

答 福祉保健課長

相談窓口等は、心の相談事業を拡充し、保健センターで、コロナに関することも含めて相談を受け付けている。児童虐待については養護児童対策地域協議会の個別検討会議、高齢者については個別ケース検討会議等を行っている。予算の拡充については、臨床心理士の予算を補正で計上した。

問 啓発活動やパトロール、安全な場所の提供、通報システムづくりなど住民への対策と取り組みは。

答 福祉保健課長

県の関係機関や警察等と調整できる体制を確保して、早急に対応出来るよう進めていきたい。

公営住宅（池田住宅）環境設備改善について

問 池田住宅の建て替えの予定はあるのか。

答 環境整備課長

昭和41年度建設の20戸は建て

替える計画である。他の町営住宅に転居希望が8戸ある。

問 高齢者が多いのでシャワーの設置はできないか。

答 環境整備課長

シャワーの設置は行わない。

答 町長

木城町公営住宅等長寿命命化計画に基づいて取り組んできていく。池田住宅は54〜55年経過して耐用年数も超えている。老朽化もしており耐震性にも不安があるため建て替えも必要である。合意形成を図りながら、計画に沿って、財政事情も含めて総合的に判断して決断していきたい。



現在の池田住宅

コロナ禍における景気回復策は



桑原 勝広 議員

答 適時判断して経済を回していく

新型コロナウイルス感染症発生時の情報収集について

問 本町でコロナウイルス感染症発生を受けて対応した結果、情報公表等今後の課題は。

答 町長

情報公表は、新型インフルエンザ対策特別措置法に基づいて行っている。情報は県が出される部分のみである。県に新型コロナウイルス特命チームが設置され、今後はしっかりと対応し、取り組んでいく。課題については、色々な場面で出てきているが、今後に活かしていく。

問 初期の情報収集が早い程、個人情報保護を徹底でき、デマ・誹謗中傷の抑制にも繋がる。県からの情報がないのであれば噂の情報元を確認してはどうか。

答 町長

コロナ特措法に基づいて、対応しているので限られた情報しか提供できない。本人からの申し出がない限りなかなかつかめない。社会的な弱者、高齢者、認知症の方については、命を守る観点から最低限の情報を、出してもらえるようになった。

問 今後町内で感染者・濃厚接触者が出た場合、買い物等生活支援が必要になるが対応マニュアルはあるのか。

答 福祉保健課長

感染者の情報公表については、県の取り決めに従う。本町で患者が発生時は、個別に情報収集を行い支援の必要性について把握する事に努め、個別に対応していく。プライバシー保護に十分配慮する。県の特命チームが作成しているQ&Aを活用し、町民に普及啓発をしていく。

問 自分の命は自分で守る意識を高め、自分の行動に責任を持つてもらつたことを訴えるべきではないか。

答 町長

町民一人、一人が自分でできることはしっかりとやっていただきたい。

社会的弱者に対する生活支援対策について

問 一人暮らし等の社会的弱者に対する買い物等の生活支援は。

答 町長

生活支援はしていくべきと思うが、検討課題である。

9月販売予定であるプレミアム商品券について

問 今回発売予定のプレミアム商品券は、当初予定していた状況と大きく変わったので、町民の救済措置として町民一人二万円

分を配布したらどうか。税金の平等な使い方を示すことになる。

答 町長

プレミアム商品券は町内でお金を回し、消費喚起を促す目的がある。コロナ対策は長期戦が予想されるので今回は第一段階として取り組み、来年以降第二段階として検討する。

問 前回のプレミアム商品券で飲食店限定券について、町内で消費する場所が少ないという苦言が町内外から多くよせられ、今回その意見が反映されず残念に思うが考えは。

答 まちづくり推進課長

苦言があったということだが、一番影響を受けたのは飲食店と考える。今回のコロナ対応については、今後の動向等を注視しながら、様々な事を考えていく。

問 今後、町内の景気回復対策の考えは。

答 町長

基本的には、感染拡大防止と地域経済の再生である。今後インフルエンザ等も心配になるので、適時判断して経済を回していきたい。

義務教育学校開校について

問 新型コロナウイルス感染症の発生により、義務教育学校開校に向けて地域との協議が十分に行われないが進捗への影響はないのか。

答 教育長

5月に開設準備委員会を立ち上げ開設の整備に向けて各種5つの専門部会で協議している。義務教育学校設立の取組の状況については、いろんな機会を通じて町民の方々に周知し、説明、意見を聴く機会を設けていく。

*地域住民を巻き込んだ学校を中心としたまちづくりが、今後の木城町の人口・税収増加の責任を持っている。魅力ある学校を作っていただきたい。



義務教育学校の建設予定地

人口減少と子育て支援施策について



黒木 泰三 議員

答 転入拡大と転出防止を進めたい

問 第一期平成28年度人口ビジョン・総合戦略は、2060年を目標としている。その成果は。

答 町長

地域活性化と人口減少対策に基本目標三つを掲げ、具体的な対策により数値化を図ってきた。結果については満足はしていない。

答 まちづくり推進課長

第一期では38の指標で、目標達成したのは15件。その他の事業でも成果がかなり出ているので、第二期以降に引き継ぐ部分もある。

問 東京一極集中、多発する自然災害、コロナ禍など生活様式まで変化している。今後の人口動向について、町長はどのように考えているのか。

答 町長

現在までのまちづくりに加え、人口増を図る上でも一つのチャンスだと捉えている。対策を講じていきたい。定住促進事業をさらに充実を図り、転入拡大と転出防止を進めたいと考えている。

問 本町の一番の魅力は何なのか。子育て支援施策は全国でもトップクラスと聞いている。今

後どのように若い世代の心を捉えアピールしていくのか伺いたい。

答 町長

子育て支援策は他の市町村でも激化している。さらに磨きをかけていきたい。

昨年よりPRプロジェクト事業を立ち上げ発信している。羽田空港近くのアンテナショップにおいて、食、観光、移住施策を含めたアピール活動を図っている。今後、子育て世代と意見交換会も行い、インターネットを活用した子育て支援策なども検討している。

問 令和5年度に義務教育学校が開校し、外観的にも注目されるかと思う。最近の小中学生の学力向上について伺いたい。

答 教育長

コロナ禍により全国学力テストは中止となったが、昨年度は小学6年生が県下三位で全国平均を大きく上回った。中学3年生は若干平均を下回ったが、過去の状況から学力向上は図れており、一人一人の学力が向上できるように努めていく。

転入者に対する受入体制について

問 宮崎キャノン工場跡地に隣接する町有地について住宅地として分譲していく考えは。

答 町長

宮崎キャノン工場跡地は、まだ動きがない。町有地が1ヘクタール、宮崎キャノン工場跡地が2ヘクタールある。宮崎キャノンがどうするのか踏まえたうえで検討したい。人口減少対策の一つとして宅地分譲化していく考えは同感である。

問 学校周辺の住宅用地確保のために農振地の見直しは考えていないのか。

答 産業振興課長

本町には929ヘクタールの農地があり、うち170ヘクタールが白地農地である。住宅地域内の白地その他雑種地、山林、空き家等も点在しており、事業が発生したときに検討すればよいと思っている。農業が基幹産業である本町は、農振除外を行うと面積に応じた国の交付金や各種補助金が削減される。

空き家対策について

問 空き家対策の現状は。

答 町民課長

令和2年3月に、木城町空家等対策の推進に関する条例を制定している。本年6月に空き家調査を委託しており、9月末に調査結果が出る。結果を基に、目的達成に向け進めていく考えである。

問 定住促進事業について見直し拡充の考えは。

答 まちづくり推進課長

魅力的な木城町ならではの定住施策の変更改正等を考えている。

問 子育て支援施策に住宅用地確保をセットにした情報発信や相談対応を実施し、転入・移住者の促進を図るべきかと思うが。

答 町長

木城町の存続と活性化に向けて、地域性を発信、発掘し、アピールしていきたいと思う。

農振地：農業振興地域。青地ともいう。

白地：農業振興地域外の農地。

議会活動報告

6月

1日

- ・議会運営委員会
- ・議会全員協議会

5月11日

- ・第3回木城町議会定例会

21日

- ・石井記念のゆり幼児園落成式
(全議員)

24日

- ・議会広報編集特別委員会

26日

- ・畜魂祭
(議長)

7月

1日

- ・議会全員協議会
- ・議会広報編集特別委員会

3日

- ・東児湯消防組合議会臨時会
(議長、総務常任委員長)

9日

- ・議会広報編集特別委員会

13日

- ・議会広報編集特別委員会

20日

- ・議会運営委員会

21日

- ・宮崎県町村議会議長会議会
運営委員会正副委員長研修
(議会運営委員長、副委員長)

22日

- ・第4回木城町議会臨時会
- ・令和2年度高速自動車国道
建設促進宮崎県期成同盟会
総会他
(議長)

8月

11日

- ・議会全員協議会

20日

- ・宮崎県町村議会議長会決算
審査
(議長)

26日

- ・宮崎県町村議会議長会役
員・監事合同会
(議長)

31日

- ・議会運営委員会
- ・議会全員協議会

9月

4月14日

- ・第5回木城町議会定例会

24日

- ・議会広報編集特別委員会

30日

- ・第187回宮崎政経懇話会
児湯・西都地区例会(議長)

災害対策協議会設置に関する 要綱を整備

町議会では、大規模災害等があった場合に備え、町災害対策本部等と連携し、側面からの支援を行うために、災害対策協議会設置要綱を整備しました。災害には、家畜伝染病や新型インフルエンザ等の感染症なども含み、災害時における行動マニュアルも定め、町議会として未曾有の災害に向け、体制整備を図ります。

皆様からの意見

町議会では、本会議(一般質問)を傍聴された方にアンケートを実施しております。今回も、傍聴された方からの貴重なご意見をいただいておりますので一部ご紹介いたします。

- 質問内容に重複が多い。
- 傍聴者が少ない。
- 市民の関心がある質問内容を考えるべき。

*重複する質問につきましては、議員間の調整を行い、同じ内容は避けております。しかし、質問の性質上、似た内容になることもあります。傍聴者を増やすためにも、今後は市民の皆様が関心を持つ一般質問になるよう心掛けてまいります。

木城っ子たちの活動の様子

今年、夏休み期間中に新型コロナウイルス感染症の第2波を受け、各種イベントの中止が相次ぎ、子ども達にとってプールもお祭りもない、大変つらい夏休みとなりました。そんな中、元気に活動する『木城っ子』たちの活動の様子をご紹介します。

木城中学校合唱コンクール

※保護者はサテライト会場での観覧となりました。



金賞を受賞した3年A級



銀賞を受賞した3年B級

木城っ子たちの運動会の様子

例年であれば、私たち議員も招待を受け、楽しく観覧するところですが、今年は新型コロナウイルス感染防止対策もあり、議員全員の参加はできませんでした。今回は、『木城っ子』たちの運動会や練習の様子をご紹介しますので、元気な姿をぜひご覧ください。

どんぐり保育園



めばえ保育園



のゆり幼稚園



木城小学校



木城中学校①



木城中学校②



今年は新型コロナウイルス感染防止対策もあり、プログラムの縮小や参加者の制限が設けられるなど、例年とは違う運動会となりました。それでも精一杯頑張る子どもたちの姿に大変元気をもらいました。「With コロナ」の生活がいつまで続くのか分かりません。私たちにとってもそうですが、子どもたちにも過ぎ去った時間は戻ってきません。特に、義務教育最後となる中学3年生にとっては、同級生全員と過ごす最後の年です。「遊び」も「勉強」もしっかり頑張るって欲しいものです。時間を大切に!!



まちの話題 TOWN TOPICS

町の花「コスモス」を見に行こう!



岩戸美土里会の種まきの様子



岩戸原のコスモス

「コスモスの種まき」

今年も9月中旬頃、各地区で稲刈りが終わった田んぼにコスモスの種まきが行われました。

10年前より町の企画課（現在のまちづくり推進課）が「花いっぱい運動」の一環として始められたのがきっかけで、現在は観光協会が安価でコスモスの種を提供しております。

今年も約150ℓの種を、岩戸美土里会他5団体などたくさんの方が種を購入し、田んぼなどに種まきを行っております。

11月頃が見ごろです。どうぞご家族連れで各地のコスモスの花を見に行きませんか。

【種まきを行なっている地区】

重木地区、岩渕地区、町地区、岩戸地区、川原地区、石河内地区

町の花は「コスモス」

町の木は「檜の木」

町の鳥は「青鳩」です。

皆さん知っていましたか？

※町の木は町制施行より指定されていますが、町の花と町の鳥は、町制施行5周年を記念して、町民より募集し指定されました。

議会傍聴メーター

2019年3月議会から
議会傍聴に来られた人数です。

1 3 1

議会傍聴をしてみませんか!

次の議会定例会は**12月**です。定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

TEL 0983-32-2213 (直通)

木城町ホームページに
議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧いただけます。

〈URL〉 <http://www.town.kijo.lg.jp>



議長 神田 直人

発行責任者

委員 黒木 泰三

委員 久保富士子

副委員長 森 伸夫

委員長 中武 良雄

編集委員